



## 八王子国際フレンドからのメッセージ



### 中国



### プロフィール

留学生

徐 海玲 (ジョー カイレイ)

● 日本在住 5年目

● 出身 中国遼寧省



### 自己紹介



私の名前は徐海玲と申します。中国遼寧省開原市で生まれ、留学生として日本へ来て5年になりました。

私の趣味は、同じ映画を違う国の言葉で、繰り返して見ることです。他人から見ると、つまらないことをやっていると思われるかもしれませんが、それは私にとって、とても面白い勉強方法です。同じ映画を繰り返し見るということは、物語や人物の会話も、当然繰り返されるということです。しかし、それをするによって、意味が同じでも国によってその表現の仕方は違い、それによる相手に伝えたい自分の気持ち、その場の雰囲気も変わると気づくことができました。

私の特技は日本語、中国語、韓国語、英語で歌を歌うことです。私は違う国の人々とコミュニケーションすることが大好きで、今はこの四ヶ国語で自由にコミュニケーションできるように挑戦しています。



### 日本の暮らし



私は高校生の時、学校で日本語と日本の文化について少し勉強しました。その時日本は経済発展大国で競争が激しく、学生も社会人も勤勉で真面目に働いているというイメージが強かったです。私はそのような環境に興味を持ち、もっと触れてみたいと思って、日本へ来て勉強することにしました。

私が日本に来て驚いたことは、日本人は生の物を食べることが好きだということです。例えば、生卵、刺身、寿司などがあげられます。中国では、料理は火をとおしてから食べることが普通です。私の驚きはそれだけではありません。朝早くに、吉野家や松屋などの飲食店に入って見ると「なぜみんなそんなに急いでご飯を食べているのだろう？」と、とても不思議に思います。彼らが食事を使う時間はわずか10分！中国では、「ご飯はよくかんでゆっくりのみこむこと」が健康を保つ一番大切な方法だとよく言われています。私は中国との文化の差にとっても驚きました。また、初めて梅干と納豆を食べた時、私は「なぜ日本人はこんな味が好きなのか」と、とても不思議に思いました。日本人の味覚を疑う時もありました。

私が日本に来て困ったことはいっぱいありました。最初は日本語が話せなかったり、電車の乗り換え方が分からなくて道に迷ったりしました。でも今考えると、それは日本にいる外国人にとって、誰でも経験する第一歩目だと思います。日本の暮らしで困ったことは、大きなことも、小さなことも山ほどありますが、その中でなかなか忘れられないエピソードがあります。それは、私が初めて日本人の友達の家に遊びに行った時でした。友達の話によると、刺身は日本で一番美味しい食べ物だそうです。その話を聞き、私は試しに刺身を食べてみることにしました。しかし、刺身はどれも苦手でした。その時私は友達の好意を無駄にしてはいけないと思って、美味しそうに食べましたが、当時はとても困った事だとは思いました。でも今考えてみると、とても面白い経験でした。

今、日本へ来て5年が経ち、なんとか日本の習慣や食べ物にも慣れてきました。なぜ日本人は生の物を食べることが好きなのか？それは、自然の美味しさをそのまま味わうためだと思います。なぜそんなに速く朝ご飯を食べるのか？それは、それほど生活の流れが速いからだと思いました。現在、なんと私は納豆と梅干が大好きになり、刺身も食べられるようになりました。日本での生活とともに、私にとって「新しい驚きと不思議」も増えて来ました。最近は不思議だと思ったことは、八王子駅南口の前で毎日踊っている若者達のことです。でも、彼らの素晴らしい演技と、元気に踊っている姿を見ると、私も不思議と力を得たように、仕事も勉強も頑張りたいと思います。



## 母国の紹介



私は遼寧 (Liaoning) 省開原 (Kaiyuan) 市に生まれました。遼寧省は鴨緑江 (おうりょっこう) を隔て、朝鮮と接する中国東北地方南部の省です。面積は15万平方キロメートル、省都は瀋陽 (Shenyang) で、略称は「遼」と呼ばれています。鉄鉱石・石炭が豊富で、各種の重工業が発達しています。

この地域の本来の気候は、日本の関東地域と比べて夏は暑く、冬は寒いです。でも建築設備と内部構造により、部屋の中は春、夏、秋、冬の四季暮らし易い温度になっています。

遼寧は中華民族文明起源地の一つとも言われ、沢山の旧石器時代の文化遺物も発見されています。その中で比較的有名なのは遼寧牛河女神廟 (・ 牛河梁女神・ )、積石塚群東山口祭壇 (・ 石冢群・ 山嘴祭・ ) です。それは5500年前中華民族文明の典型的な代表です。その積石塚の仕組みは複雑であるものの、方向は一致しており、エジプトのピラミッドと匹敵するとも言われています。また、そこで発見された「陶塑女神・像」と「玉雕猪・」は中国原始宗教意識と彫塑技術が、当時高い段階に到達していたことを表しています。

中国の「明」「清」時期の遼寧は経済が発展し、文化も目覚ましい進歩をしていました。その時期の

建築物もかなり有名であるとよく言われています。例えば、瀋陽の故宮、福凌（東凌）、昭凌（北凌）そして新賓の永凌もとても有名です。また文学方面にも素晴らしい作品と人材があり、その詩歌から当時の民族間貿易状況も理解することができます。

中華料理というと大きく北京・上海・四川・広東4大料理系統に分かれています。

北京料理でのお勧めは、やはり北京ダックです。アヒルを丸ごと焼いて、その皮を薄い中国風クレープで巻いて、好みでネギや味噌、キュウリなどをはさんで食べるととても美味しいです。栄養満点の油料理のあとは、上海の野菜料理も良いと思います。上海の野菜料理にはナスの炒め物やオニオンスープがあります。四川料理には、日本人もよく知っている麻婆豆腐、担々麺、棒棒鶏などがあり、全体的に辛い味付けが特徴です。でも、まったく辛くない料理もあるので、辛さが苦手な人も大丈夫です。例えば、真珠団子、あっさりワンタンスープなどがあります。そして、私が一番好きなのは広東料理です。有名なのはフカヒレの姿煮、海老の揚げ物、子豚の丸焼きなどです。私の日本の友人にも人気があるので、ぜひ皆さんにも一度食べてもらいたいです。

四大料理以外にも山東の魚の甘酢煮や浙江(セッコウ)省のドンポーロウ、江蘇省の春巻き、ヤマイモの飴がけなどがあります。中国各地で食べられている地元点心も、とても人気があります。これは値段的にも安いので、色々買って見ると面白いかも知れません。私の故郷で有名な点心は麻花（ねじり菓子）、元宵団子、あんこ入りパイなどがあります。

以上で中国についての紹介は終わりです。いかがでしたでしょうか？少しでも中国について興味を持っていただけたでしょうか？次は、ぜひ中国に足を運んでみてください。中国のシンボル「万里の長城」を登り、中国の料理を味わい、そして中国の人々と触れてみてください。あなた方もきっと私と同じように、色んな感動、驚き、不思議な出来事を体験できると思います！